

“ここでも” 進んで “の姿が・・・”

～お迎え遠足の楽しい昼食～

お迎え遠足での昼食時のことです。校内遠足のため、昼食場所は体育館にしました。

遠足担当の先生から、「なかよし班ごとに食べてください。食べる場所は、自分たちで相談して決めてください」と、必要最小限の指示を出し、あとは子どもたちに任せることにしました。

先生から場所決めを任された子どもたち。広い体育館の中の好きな場所で、班毎に集まって食べるのだろうと思いきや、なんと子どもたち全員が一つの輪になり、シートを広げ始めたのです。この日体調不良のため登校できた1年生が少なく、お迎え遠足の主役である1年生がない班があったことから、昼食直前に6年生が自主的に相談して、全校でひとつの輪になって食べようということになったのだそうです。

準備が落ち着き、「お弁当を食べ始めていいのかな・・・？」という雰囲気は漂い始めました。通常であれば、ここで教師が、「みんな準備ができましたか？ じゃあ、「いただきます」をします」と子どもたちに言いたいところですが、そこはぐっと我慢して子どもたちの様子をじっと見守り任せます。

すると、6年生が、「いただきます」は誰が言う？」と、みんなに投げかけました。誰もが考え黙っていると、「じゃあ、ぼくが言う」と、率先して音頭をとってくれます。そして、「手を合わせて、いただきます！」と、元気よく声をかけ、みんなで一緒に昼食スタートとなり、子どもたち全員の心がひとつになった心温まる場面となりました。



今回の遠足では、1年生を迎える会の校長の話の中で、「自分で考えて動き、全員が楽しい遠足にしましょう」と、この遠足で大事にしてほしいことを、子どもたちにお話ししました。

昼食時において、特に最高学年である6年生が下級生に目を配りながら、“歓迎遠足の趣旨に合う昼食にしよう”ということをしっかり考え、行動してくれたのです。大変頼もしく素晴らしく思います。そして、そのような自ら考え動く6年生の姿は、いずれ最高学年となっていく下級生の立派な手本となっています。このように行事を

通す中でも、めざす子ども像の“進んで”の姿が実践できていっています。



草刈りお助け隊～リリちゃんとホピちゃん～

自然豊かなすばらしい環境に恵まれた本校。広い運動場も例外ではなく、シロツメクサ等のたくさんの草花が生い茂っています。聞くところによると、数年前までは、運動場に草花はそんなに生えていなかったとのこと。現在の様子になったのはわりと最近のことのようです。暖かくなるにつれて、その草花の丈も順調に成長を進めています。しかし、なかなか草刈りまで手が回らないのが現状です。

そのような中、保護者の方でヤギを飼育しているおうちがあるというお話を聞き、早速「ヤギに運動場の草を食べに来てもらえないか」お願いしたところ、快諾をいただきました。ヤギの名前はリリちゃんとホピちゃんです。

5月2日（木）、2匹が初めて出勤し、3時間程度運動場で過ごしてもらいました。白くてかわいいヤギが運動場の草を少しずつ食べたり横たわって休んだりしています。運動場に足を踏み入れるのは初めてですから、まずは環境に慣れてもらうため、この日は子どもたちには遠くから見守ってもらうことにしました。リリちゃんとホピちゃんは、今後も都合のよい時に出勤してくれます。本校の“草刈りお助け隊”としての活躍を大いに期待しているところです。



また、保護者の方からも「私も時間があるときに、草刈りをします」とのお話をいただき、“草刈りお助け隊”に加わっていただきました。大変ありがたいお申し出です。早速2匹と一緒に草刈りをさせていただきました。

その数日後、再び有志の保護者が集まり、草刈りをさせていただきました。運動場がすっきりし、大変ありがたいと思います。ありがとうございました。

ただ、それぞれのご事情もあると思いますので、もし、「参加しないと」とプレッシャーを感じる方がいらっしやるのであれば、私の本意ではないことは言うまでもありません。

運動会が終わるまでの約半年間は、定期的な草刈りが必要となるようです。職場のマンパワーが限られており、学校の草刈りについては対策を考えていく必要が生じています。今後、地域の皆様、保護者の皆様にも、ご相談させていただくこともあろうかと思っております。その際には、どうぞよろしくお願いいたします。